

2010.3.13 高専だより

Vol.77

秋田工業高等専門学校



卒業研究発表会開催

平成21年度本科卒業予定者147名の卒業研究発表会が、2月25日(木)に開催されました。

秋田高専で学んだ5年間の集大成として相応しく、鋭く独創性ある着眼点、様々な角度から考察され練り上げられた発表内容に、各学科教員を初めとする出席者からの質疑応答も活発に行われました。発表者はそれらに一つ一つ丁寧に答えていき、充実した発表の続くすばらしい会となりました。

卒業予定の皆さんの進路は、就職、進学と様々です。秋田高専での学業生活、そして出会った多くの人との繋がりを大切に、今後のさらなる活躍を期待しています。

受賞者一覽

平成21年度

日本機械学会岡山賞



機械工学科5年

伊藤 康平

秋田県電子工業振興協議会賞



電気情報工学科5年

千浦 悠平

日本化学会東北支部長賞



物質工学科5年

保坂 隆之

全国高専土木工学会近畿賞



環境都市工学科5年

曾我 紗登子

秋田化学技術協会賞



物質工学科5年

野呂 大樹

秋田県建設技術センター理事長賞



環境都市工学科5年

長谷部 仁美

卒業生・修了生

学術賞

機械工学科5年
伊藤 康平
電気情報工学科5年
小山内 一山
物質工学科5年
野呂 大樹
環境都市工学科5年
小林 都
生産システム工学専攻2年
植澤 裕史
環境システム工学専攻2年
佐藤 佳和

功績賞 学生会活動(会長)

環境都市工学科5年
大貫 匠

功績賞 ES&E研究会(副会長)

機械工学科5年
伊藤 和馬
機械工学科5年
水野 学
生産システム工学専攻2年
田端 泰寛

スポーツ賞 剣道

電気情報工学科5年
天野 俊平

物質工学科5年
進藤 真明
環境都市工学科5年
工藤 雄介

スポーツ賞 硬式野球

機械工学科5年
泉 宗一郎
機械工学科5年
伊藤 康平
機械工学科5年
戸井田 龍太郎
電気情報工学科5年
奥山 康平
電気情報工学科5年
照井 拓也
電気情報工学科5年
袴田 将哉
電気情報工学科5年
小野寺 亘
環境都市工学科5年
相場 俊希

優秀賞 2009フットボールオープン大会 2009バスケットボールオープン大会

機械工学科5年
幸坂 将大
環境システム工学専攻2年
戸嶋 英

皆勤賞

機械工学科5年
伊藤 和馬
機械工学科5年
佐々木 大樹
機械工学科5年
鈴木 一秀
機械工学科5年
戸井田 龍太郎
機械工学科5年
水野 学
電気情報工学科5年
石山 僚一
電気情報工学科5年
茅田 開
電気情報工学科5年
高橋 仁志
電気情報工学科5年
松橋 正峻
電気情報工学科5年
遊佐 圭太
物質工学科5年
鈴木 大士
物質工学科5年
富山 諒也
物質工学科5年
保坂 隆之

奨励賞 TOEIC

機械工学科5年
三浦 一成
電気情報工学科5年
伊藤 和也
電気情報工学科5年
越前谷 大史
電気情報工学科5年
奥山 康平
電気情報工学科5年
小山内 一山
電気情報工学科5年
高橋 仁志
電気情報工学科5年
千浦 悠平
電気情報工学科5年
松橋 正峻
電気情報工学科5年
村越 拓真
生産システム工学専攻2年
植澤 裕史
環境システム工学専攻2年
大越 誠
環境システム工学専攻2年
佐藤 佳和



秋田県産業教育振興会会長賞



機械工学科5年

幸坂 将大

電気学会東北支部優秀学生賞



電気情報工学科5年

高橋 仁志

電子情報通信学会東北支部長賞



生産システム工学専攻2年

植澤 裕史

秋田化学工学懇話会奨励賞



環境システム工学専攻2年

大越 誠

秋田高専産学協力会会長賞



生産システム工学専攻2年

渡邊 恭平

秋田商工会議所会頭賞



環境システム工学専攻2年

成田 直子

在校生

功績賞

第5回全日本学生
室内飛行ロボットコンテスト機械工学科4年
高橋 沙機械工学科3年
倉田 駿物質工学科1年
池田 裕

スポーツ賞

剣道

機械工学科4年
佐藤 隼悟機械工学科3年
菅原 圭佑機械工学科3年
森山 雄貴電気情報工学科2年
笹山 岳史物質工学科3年
浅野 百果子

スポーツ賞

硬式野球

電気情報工学科3年
鈴木 佑也電気情報工学科3年
福田 浩輝物質工学科4年
菅原 麻紗子物質工学科4年
初沢 雄太物質工学科3年
鎌田 悠物質工学科3年
佐々木 敏弘環境都市工学科4年
原田 淳一環境都市工学科4年
山下 淳史

優秀賞

2017-18年度インターカレッジ2
（19校）リーグ優勝機械工学科4年
高橋 沙機械工学科4年
芳賀 健太郎機械工学科3年
倉田 駿機械工学科2年
大塚 明機械工学科2年
三浦 彰太機械工学科1年
餘日 隆也機械工学科1年
片ヶ瀬 拓迪機械工学科1年
倉部 貴皓機械工学科1年
湯沢 光機械工学科1年
渡部 晋太郎電気情報工学科4年
進藤 怜史電気情報工学科3年
亀山 祐貴電気情報工学科3年
関 喜亮電気情報工学科1年
伊藤 純市

優秀賞

世界レーベックキニエフ杯2009
メカニクス部門 準3位機械工学科4年
吉田 匠

奨励賞

TOEIC

機械工学科4年
内田 朋洋機械工学科4年
島山 拓機械工学科4年
吉田 匠機械工学科3年
秋元 健人機械工学科3年
近藤 駿一機械工学科3年
三浦 佳恵機械工学科3年
ダムリラ ダウダ
ピンサイディ機械工学科3年
スルアズリン
ピンティアブタリブ電気情報工学科4年
佐々木 信哉電気情報工学科4年
進藤 怜史電気情報工学科4年
高橋 幸希電気情報工学科4年
樋場 貴俊電気情報工学科4年
原田 星介電気情報工学科4年
平澤 秀悟電気情報工学科4年
信太 大樹電気情報工学科3年
保坂 慎人物質工学科4年
佐々木 凌平物質工学科4年
佐藤 高物質工学科4年
佐藤 佑卓物質工学科4年
浜田 翔悟物質工学科3年
齋藤 諒介物質工学科3年
モハド ヤジッド
ビンアブドゥラウヤク生産システム工学専攻1年
進藤 大輔生産システム工学専攻1年
能澤 春香環境システム工学専攻1年
平澤 賢悟環境システム工学専攻1年
和田 仰

卒業生・修

卒業生・修了生の方に、進路決定に当たってのアドバイスを語っていただきました。

これからの進路について

機械工学科5年 工藤 駿



私は卒業後、専攻科に入学します。専攻科を選んだ理由は、まず馴染んだ環境で勉強でき、就職率がよく、大学院の進路も選べるなど、多くの利点があるからです。大学進学という選択もありますが、私は今までと同じ環境にいられるという点から、大学よりも有利だと判断しました。そして、普通の大学より就職率がいいというのも、かなりの魅力となりました。これから進路を決めるみなさんは、就職するか、進学するか、色々迷っていることでしょう。その様々な選択肢の中から一つを選ぶのは大変かと思いますが、じっくり考えて、悩むのもいい勉強になります。私は色々悩んだ末専攻科を選びましたが、この原稿が少しでも後輩のみなさんの参考になればと思います。

就職活動において

電気情報工学科5年 石和田 旬



ちょうど就職先で悩んでいた時期に、担任の先生からある会社を紹介されました。会社のことを詳しく知らなかったので、パンフレットやホームページを見て、どのような会社でどのような事業を行っているのかを調べました。調べていくうちにある事業に携わっていきたく思うようになり、それから会社の方に説明を受けここに決めました。今までのことから感じたのは、これからずっと仕事をしたいと思う所に就くことが大事だということです。本当に自分がやりたいことが何なのかを真剣に考えること。これが就職活動において大きな力になってくれると思います。また、落ち着いた試験や面接を受けて、悔いが残らないようにすることが大切だと思います。そのために、前もって試験対策や面接練習などを十分にし、高専生としての自信を持って挑戦して下さい。

就職活動で大事だと思ったこと

物質工学科5年 鎌田 あすみ



私は秋田高専卒業後、宇部興産(株)有機機能材料研究所に勤務します。振り返ると、経済的な不景気は私たちの就職活動にも大きな影響を及ぼしました。私は3月下旬の就職活動の解禁と同時に求人に応募しました。履歴書の記述内容の検討や面接練習を担当の先生と相談しながら行いました。私は元々、食品などの製造業務に興味がありましたが、希望の1社目では残念ながら不合格の結果でした。4月半ばにも関わらず、求人締め切った企業もありました。しかし、「次は必ず合格する!」という強い意志をもって、先生に勧められた2社目の採用試験に臨みました。SPI対策と自己分析を再確認し、見事合格できました。このことから、早めの行動、先生との相談、合格を信じるということが重要だと思います。これから就職活動を始める皆さん、是非頑張ってください。

思い立ったが吉日

環境都市工学科5年 星野 健



編入学は募集人数が少なく、情報も少ない。進学したいと思ったら、情報収集を早めに行きましょう。一番良いのは、信頼出来る先生に聞くことだ。先輩の話や、大学の特徴など最も身近でわかりやすい。高専でがんばっていれば、進学はそれほど難しいことではないと思う。進学のため勉強をするとき、自分が書いたノートが一番わかりやすい。授業のノートは捨てずに取っておこう。特に英文先生の徹積の授業ノートは、いつ見てもきれいにまとまっていたりわかりやすかった。正直言って私は進学の準備が遅かったため、勉強する時間も限られていた。それでも、進学出来たのは、高専で学んできたことの積み重ねと先生のアドバイスがあったからだ。恐れなくて挑戦してみれば、きっと進学の道は開ける。思い立ったら行動してみよう!

専攻科から大学院への進学に向けて

生産システム工学専攻2年 植澤 裕史



進学する場合、勉強と情報収集は並行して行って下さい。取り組みたい研究内容を得意とする大学院を探し、そこにはどのような研究室があり、希望する研究室は進学後に受け入れ可能か、などの情報を早く入手することが大切です。そのために活用してほしいのは高専の先輩方です。少なからずどの大学院にも高専出身の先輩がおられます。希望する研究室のホームページ経由で連絡を取り合い、一度は研究室を見学させてもらうといいと思います。実際、自分の目や耳で得た情報は受験への不安を和らげてくれると思います。私は、学会発表の際に希望研究室の先生に出会い、話を聞いたことが進学への決め手になりました。受験だけでなく就職活動もそうですが、動き出しが早ければ早いほど心にも余裕が生まれます。皆さんの早い動き出しに期待します。

就職活動の心得

環境システム工学専攻2年 相馬 健太郎



就職活動中の学生達に、これだけはしっかりとやってほしい事があります。それは「自分が何をしたいのかはっきりさせる」ことです。しかし、自分のしたいことを明確にすることは難しく、大半の学生は悩むと思います。そういった時のアドバイスとして、なるべく多くの人に相談し、意見交換を行うことをおすすめします。自分の考えを相手に伝えるためには、考えをまとめ、わかりやすく説明しなければなりません。その作業を続けていくことが、本当にしたいことを見つける手がかりとなります。自分が何をしたいのかわかってくると、だんだんと将来のビジョンが見えてきます。同時に、就職に対する熱意も湧いてくるでしょう。熱意がある学生を会社は採用しがたっています。皆さんにはしっかりと目的と熱意をもって、就職活動に臨んでほしいと思います。

了生の進路

平成22年3月卒業(修了)者の就職先及び進学先一覧 (平成22年3月4日現在)

学科(専攻)名	本科	専攻科	合
就職内定先及び進学先	特種電気物質 環境衛生 健康科学	健康科学 環境衛生 健康科学	計

建設業

日建エンジニアリング(株)	1		2	3		
五洋建設(株)		1		1		
東洋建設工業(株)		1		1		
大森建設(株)		1	1	2		
むつみ造園土木(株)		1		1		
ユナイテッド計画(株)	1			1		
林森建設工業(株)	1			1		
日本リーテック(株)	1			1		
山二工業(株)		1		1		
伊田工事調査(株)		1		1		
(株) 沢木組		1		1		
(株) 豊平ブリックホールディングス		1		1		
(株) NIPPPO		1		1		
(株) 山武		1		1		
栄輝工業(株)		1		1		
日特建設(株)		1		1		
スガテック(株)			1	1		
三井造船設備工事(株)			1	1		
(株) 西原環境テクノロジー			1	1		
日博プロジェクトサービス(株)			1	1		
小計	2	2	12	2	5	23
(昨年年度末)	2	14	1	2	19	

食品品製造業

サントリーブプロダクツ(株)	1			1	2
森永乳業(株)		1			1
日本ミルクコミュニティ(株)		1			1
サントリーホールディングス(株)			1		1
明治乳業(株)			1		1
小計	1	2	2	1	6
(昨年年度末)		1	1	1	2

繊維工業

東レ(株)		1			1
小計		1			1
(昨年年度末)					0

化学工業

花王(株)	1				1
DIC(株)		1		1	2
触媒成(株)		1			1
三洋化成工業(株)		1			1
三菱化学(株)	1	1			2
大日本化成工業(株)	1				1
(株) 日本触媒		1			1
(株) コーセー		1			1
宇部興産(株)		1			1
住友化学(株)		1			1
高村製薬(株)		1			1
コスモ石油(株)		1			1
カネカ(株)			1		1
第一三共プロフォーム(株)		1			1
小計	3	11	1	1	16
(昨年年度末)	1	10	1	1	13

石油・石炭製品製造

豊田ゼナラル石油(株)	1				1
豊田石油工業(株)		1			1
小計	1	1			2
(昨年年度末)		4			4

一般機械器具製造

(株) 放野フライス製作所			1		1
(株) ベスト	1				1
東芝エレベータ(株)	1				1
日本オーチス・エレベータ(株)	1				1
フジテック(株)			1		1
小計	1	2		1	5
(昨年年度末)	3		1	1	6

学科(専攻)名	本科	専攻科	合
就職内定先及び進学先	特種電気物質 健康科学 環境衛生	健康科学 環境衛生 健康科学	計

電気機器製造

日本モレックス(株)		1	1		2
(株) 日立エレクトリックシステムズ	1				1
三菱電機システムサービス(株)	1				1
(株) 友伸エンジニアリング	1				1
(株) 宇通体エネルギー研究所		1			1
小計	4	2			6
(昨年年度末)	3	6	1	2	12

精密機器製造

JUKI電子工業(株)	1		1		2
アダマンド工業(株)		1			1
小計	1	1		1	3
(昨年年度末)	1	2	1	1	5

その他製造業

(株) 技電精密加工研究所	2				2
三菱重工業(株)		1			1
杉田プライウッド(株)	1			1	2
日産工具(株)	1				1
(株) 多加良製作所		1			1
(株) セイシン企業		1			1
JFEスチール(株)			1		1
テルモ(株)			1		1
日本大船和船橋(株)			1		1
小計	4	1	2	4	11
(昨年年度末)	4	4		2	10

運輸業

東日本旅客鉄道(株)	1		1	1	3
東海旅客鉄道(株)	1		1		2
日本貨物鉄道(株)			1	1	2
小計	2		3	1	6
(昨年年度末)	1	1	2	1	6

電気・ガス・情報通信業

東北発電工業(株)	1				1
太陽日報(株)		1			1
国アイ・エフ・アイ・フロンティア	1				1
中部電力(株)		1			1
東京電力(株)		2			2
東北電力(株)	1	1	1		3
(株) エヌ・ティー・ティ エムイー	1	1	1	1	3
日本原子力発電(株)	1				1
テコム(株)		1			1
(株) パーソナル情報科学研究所		1			1
(株) 富士通ビジネスシステム		1			1
(株) 協和エクシオ			1		1
(株) エス・エフ・ティー		1			1
富士通東北システムズ(株)			1	1	2
小計	4	7	3	3	19
(昨年年度末)	4	9	1	1	15

サービス業

(株) 日立ビルシステム	1				1
DOWAテクノリサーチ(株)		1			1
東京水道サービス(株)			1		1
(株) IHI回転機械	1		1		2
NCIサービス(株)	1				1
(株) NEXCOエンジニアリング東北	2	1			3
(株) 建設技術研究所				1	1
インターフェイス(株)		1	1		2
三菱電機ビルテクノサービス(株)	1				1
小計	2	4	1	3	11
(昨年年度末)	4	3	1	3	13

学科(専攻)名	本科	専攻科	合
就職内定先及び進学先	特種電気物質 健康科学 環境衛生	健康科学 環境衛生 健康科学	計

金融業

(株) 秋田銀行			1		1
小計			1		1
(昨年年度末)			1		1

医療・福祉

医療法人久寿会		1			1
小計		1			1
(昨年年度末)					0

不動産業

三菱地所住居コミュニティ(株)			1		1
小計			1		1
(昨年年度末)			2		2

法人・官公庁

(財) 東北電気保安協会	1				1
小計	1				1
(昨年年度末)					0

専攻科進学

秋田高等専攻科	7	8	11	3	29
小計	7	8	11	3	29
(昨年年度末)	8	6	7	6	27

大学進学

秋田大学	2	3	1		6
長岡技術科学大学	2		2		4
東京電機大学			1		1
豊橋技術科学大学	1	1			2
弘前大学		1			1
福島大学	1	1			2
新潟大学	1				1
千葉大学		1	1		2
山形大学		1	1		2
岩手大学	1		1		2
大正大学			1		1
早稲田大学	1				1
八戸工業大学		1			1
小計	8	7	3	7	25
(昨年年度末)	14	6	5	8	33

大学院進学

東北大学大学院				1	1
東京工業大学大学院				1	1
福島大学大学院				1	1
長岡技術科学大学大学院				1	1
小計				1	3
(昨年年度末)				1	2

進路	学科	特種電気物質	健康科学	環境衛生	健康科学	環境衛生	計	
就 職		20	23	24	23	14	10	114
進 学		15	15	14	10	1	3	58

今年3月限りで退職される先生方です。

これまで本当に お世話になりました。



高専8年間の思い出

機械工学科 落合 雄二

高専1年目は4Mの担任、翌年は5M担任と機械工学科主任、3年目は専攻科主任と地域共同テクノセンター長兼務、4年目以降は地域共同テクノセンター長を務めてきた。この間、3学科棟改装、法人化移行、JABEE認定、機関別認証評価等とイベント続き、学校業務にもそれなりに参画でき、充実した8年間であった。特に思い出深いのは、赴任1~2年目の担任の時である。4年担任時、夏期工場実習の受入企業の開拓に四苦八苦、10月の工場見学の1社が8月中旬に会社更生法の適用を申請し、急遽新たな受入企業を探し出せた安堵感、編入生2名が夏休み前後にともに退学を希望し、三者面談を繰り返した時の切迫感。翌5M担任時には就職・進学にあたり、学科主任としてまた担任として、求人数が激減した中での就職先の探索やほぼ全員への担任推薦書の作成に日々苦悩したこと等が懐かしく思い出される。このような中、5M担任時に、全国高専将棋岡山大会にクラブ指導教員として引率し、全員5M構成のチームから「5年ぶり3回目の団体優勝」という喜ばしい贈り物も頂いた。



「一本 集中！」

電気情報工学科 田畑 季章

イッポン シュウチュウ!とは、私が本校で長年携わってきたバドミントン部において、戦っている選手への激励のかけ声です。スポーツの試合は厳しい。勝敗は相手あってのもので、紙一重でも天地の差です。練習しなければ勝てません。技術を身につけさせるために、教える方は難しいことを、優しく、深く、面白くたって、これが難しい。「素直な気持ちでまず吸収!」などといいます。そしてまた、どんなに練習しても勝てるとは限りません。修羅場において最後にものをいうのは、やっぱり一本をとる集中力でしょう。あらゆる不安に打ち勝って、そこに自分を集中できるかどうかです。実際、火事場の馬鹿力というのは実在しますし、何事にもそれはいえるでしょうね。

学生の皆さんの学業達成も、やるときはイッポンシュウチュウでしょう。文武両道、集中力の切り替えで未来をつかんでください。



退職にあたって

物質工学科 豊嶋 幸子

昭和44年、秋田高専工業化学科に赴任して41年が経ってしまいました。秋田生まれ、秋田育ちの私でしたが一度も行ったことのない飯島という地にバスで通勤することになりました。22歳になったばかりの大学生気分がまだ抜け切らない私が5年生(19か20歳)から「先生」と呼ばれたときの戸惑いを今でも思い出します。教員の中で女性は私一人という心細さもありましたが、一学年に女子学生が一人という学生に較べればと思い自分を励ましたものです。卒業生が求人活動で来校したとき顔は在校生当時にタイムスリップするか名前が出てこないときに、本校での月日の長さを感じると同時に、社会人として立派に活躍している姿にうれしく感じるのです。考えると本校に在学していた学生から「元気」をもらって、今まで勤めることができたと思うのです。



ロボットコンテスト 「大会を終えて」

機械工学科4年 鈴木 彩香

初の四学科合同チーム。初キャプテン。そして初めての本格的な設計。と、初めてづくしの今大会。実は最初の目論見はすべて外れ、私のアイデアは何一つ形にならないまま。一回戦は判定勝ちしたものの、二回戦敗退でした。応援してくださった皆様にお礼申し上げます。来年度は秋田大会ですので、ぜひ会場にいらしてください。

機械工学科2年 鉈川 義幸

昨年と同様に二足歩行と多足歩行の製作がありました。予想以上に設計に時間がかかり、歩幅が小さく、そして胴体や手の設計には手が回らない状況でした。結果は一回戦負けでした。初めての設計で、実際に



作ったら干渉したり、製図ミスで違うものができたりしましたが、得られた知識を来年度の設計に生かしたいと思います。

プログラミングコンテスト 「プログラミングコンテストに参加して」

電気情報工学科5年 小山内 一由

高専プロコンは年に一度、全国の高専生が会してプログラムの腕を競うコンテストです。プログラムの獨創性・新規性を競う「課題・自由」と、ゲームやパズルを解く「競技」の3部門があります。千葉県更津市で行われた第20回プロコンで、私達は競技部門に参加しました。

でたために置かれた色を動かして碁盤目状のフィールドに整列させるというのが今回の競技内容です。動かす回数をできるだけ少なくすることが目標で、計算時間は制限内なら勝敗に関わりません。選択肢を限定すると回数がかかり、総当たりでは計算量が爆発してしまう、とても手応えがある問題でした。



結果は準決勝敗退ですが、メンバー達が力を付け、次に繋がるいい大会になりました。

デザインコンペティション 「デザインコンペティション結果報告」

環境都市工学科4年 伊藤 有生・芳賀 望美

2009年11月13～15日に愛知県豊田市の全国高専デザインコンペティションが開催されました。昨年に引き続き、専攻科と本科2チームでの2度目の構造デザイン部門への参加となりました。今回の競技内容は、3点支持橋梁模型の強度とデザイン性を競うものでした。



結果は、それぞれ耐荷重19kg・95kgで、総合順位は53チーム中40位・11位でした。残念ながら入賞はできませんでしたが、大会に参加することで自分ではまったく思いもつかなかった多くのアイデアや技術に触れられたことは、よい勉強になったと思います。

デザコンはやる気さえあれば誰でも全国の舞台に立つことができ、大会の歴史も浅く入賞の可能性も高いので、とてもやりがいのあるものです。来年は八戸で開催されるので、興味のある人は是非挑戦してみてください。

英語スピーチコンテスト 「英語スピーチコンテストに参加して」

物質工学科2年 菅原 拓郎

僕は宮城高専で開催された英語スピーチコンテストに初めて出場しました。そこで僕は、「厳しくもやりがいのある高専ライフ」の題で発表しました。

参加者は一年生が一人いる以外は全員が先輩であり、加えて僕は最後に発表することになったので、緊張の糸がなかなか切れませんでした。さすがに先輩方の発表は発音が綺麗で、知らない単語が出て意味が伝わって来るように感じました。

結果は六位と非常に残念な結果となりました。しかし、留学生の先輩方を交えての練習は、僕にとってとても充実した日々を感じました。指導して下さった先生方や先輩方の為にも、機会があったらこの次も挑戦してみたいです。





飛行ロボットコンテスト 「飛行ロボットコンテスト結果報告」

機械工学科3年 倉田 駿

第5回全日本学生室内飛行ロボットコンテストが昨年9月に開催されました。秋田高专は第3回大会から参加し、一昨年は2連覇を達成したものの、前大会をもって優勝チームが引退したため、今大会でも勝てるのかどうかはかなり不安でした。競技ルールは目標にお手玉を投下し、その後に宙返り等のいくつかの課題に挑戦するというもので、投下の正確さや機体の機動性が得点に繋がります。大学チームと接戦の末、水野、伊藤、倉田チームが優勝、田端、高橋、池田チームも3位に入賞し、3連覇を果たすことができました。こうした大会に参加することで、授業ではあまり味わえない「ものづくり」の面白さを大学の学生と共有し、楽しむことが出来たのは貴重な体験だったと思います。



ワールド・ソーラーバイク・レース 「Maschinen Kavallerier」

1年3組 湯沢 光

8月7日と8日に大浜村で行われたWSBR（ワールド・ソーラーバイク・レース）。秋田高专エコレース部は、カテゴリーS（ソーラーカー）一般の部に参加しました。初日は車検と練習走行。二日目がレース本番でした。今年は二日間とも気温が30度前後でマシン内も40度と比較的過ごしやすい天気でした。しかし、ソーラーカーとしては少々日差しが足りず、思っていたほど速度が出ず苦戦しました。それでも確実に周回を重ね一般の部で、二年連続優勝を達成することができました。しかし、高速化するマシンに車体の剛性が足りないことや、低学年が増えた事で部員の練度が低かったことなど、課題も沢山残りました。来年度はこれらの課題を改善して、さらに記録を伸ばしたいと思います。



お知らせ

授業料免除や徴収猶予、各種奨学金など学費を支援する制度があります。

● 授業料免除等について

授業料の免除等については、本校規程の定めるところにより経済的理由等で納付が困難な場合には、免除または徴収猶予及び月割分納を願い出すことができます。前期分については2月上旬、後期分は8月上旬頃に申請書を配付します。

● 学修奨励金制度について

本校では、学業成績及び人物が優秀で、かつ経済的支援を必要とする学生（授業料免除申請者）を対象として、毎年選考の上、年間5万円の奨学金を給付します。

● 学資貸与制度について

この制度は、学資負担者の失業や死亡、災害による被害等の特別な事情のある学生からの申請により、緊急に必要とする学資（主として授業料）について臨時に15万円を上限とした無利息の貸与を行うものです。

● 独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」）の奨学金制度について

本校学生は第一種貸与奨学生の対象になります。採用されると月々1～3年生は21,000円～22,500円、4～5年生及び専攻科生は45,000円～51,000円が貸与されます。（平成21年度）

募集は年1回、2月上旬に行われ、採否は機構が決定し、校長が決定通知にもとづき本人及び保証人に通知します。

※これらの制度は年度当初に配付した「平成21年度学生便覧」の45～49ページにかけて詳細が記載されています。

● その他の奨学金制度について

また本校では、日本学生支援機構のもの以外にも、第5学年に在学している学生を対象として年額200,000円の給付を行う独立行政法人国立高等専門学校機構天野工業技術研究所奨学金や、専攻科生を対象として月額60,000円の給付を行うウシオ育英文化財団奨学金などへの奨学生の推薦を行っています。

これらの制度についてご不明な点がございましたら、秋田高专学生支援係(018-847-6020)にお問い合わせください。